

平成 21 年 1 月 29 日

各 位

シミック株式会社

health クリックで人間ドックの利用動向に関する調査を実施
～レポート意向は 9 割にも。背景には消費者の疾患予防意識の高さ～

当社の子会社である株式会社ヘルスクリック（代表取締役：清水昭、本社：東京都品川区、以下ヘルスクリック）は、同社が運営する健康ポータルサイト『health クリック』（<http://www.health.ne.jp>）にて、人間ドックの利用動向に関する調査を実施しましたので、その結果をお知らせいたします。

記

『health クリック』は、生活習慣病をはじめとした様々な疾患の予防を目的として、健康一般情報及び疾患に関する情報を提供する、日本で最大級の健康ポータルサイトです（月間 1,200 万ページビュー、ユニークユーザー数 140 万人）。

このたび『health クリック』サイト上にて、「人間ドックの利用動向」について調査を実施しました。

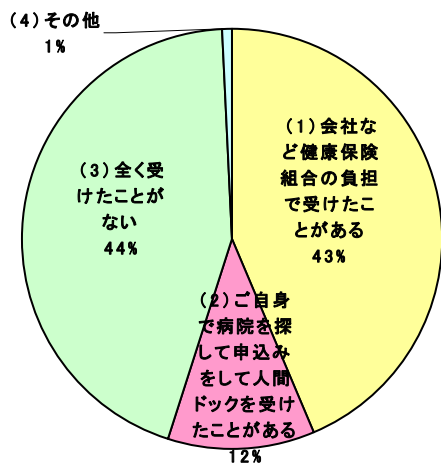
実施期間：2008 年 12 月 1 日～2009 年 1 月 4 日

回答者数：491 名（男性 229 名・女性 259 名・性別無回答 3 名）

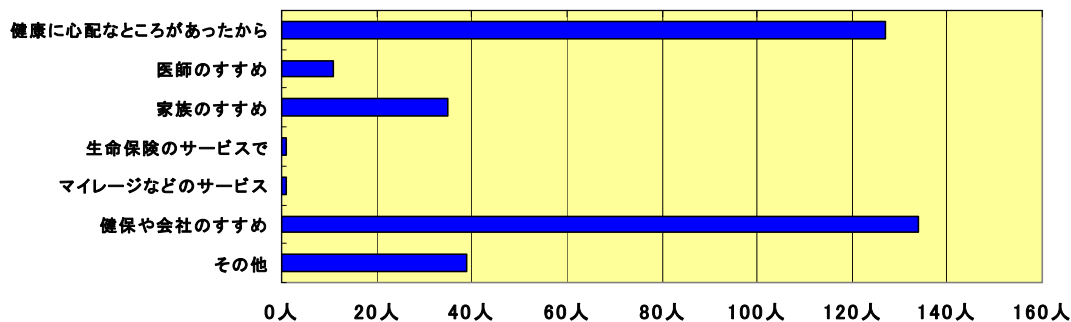
年 代：～20 代：10 名／30 代：95 名／40 代：186 名／50 代：122 名／60 代：61 名／
70 代～：17 名

■過半数を超える受診率～きっかけの多くは会社や健保組合のすすめ

あなたは人間ドックを受けたことがありますか？



なぜ人間ドックを受けようと思ったのですか？（複数回答）

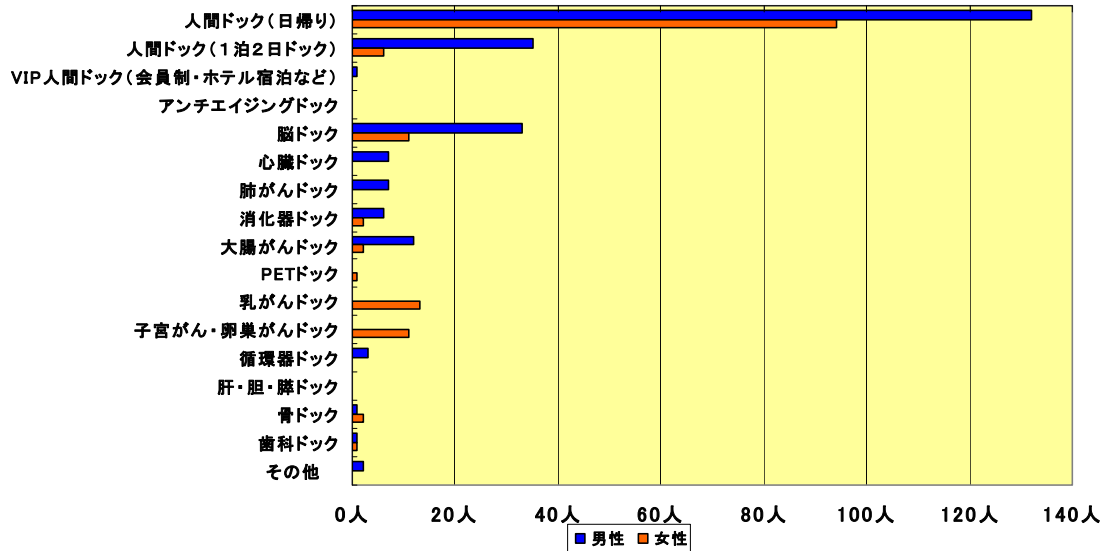


人間ドック受診の有無を聞いたところ「受けたことがある」が55%と、過半数を占めた。男女ともに年齢が上がるにつれ受診率が高くなる傾向にあり、60代男性の受診率は73%、女性で66.7%。もっとも低いのは女性の30代以下で、26.3%という結果となっている。

受診の形態では「会社など健康保険組合の負担」(43%)が「自分で病院を探した」(12%)を圧倒的に上回った。受診のきっかけの1位である「健保や会社のすすめ」(134人)という結果とあわせると、企業や健保組合による被保険者（またはその被扶養者）への受診促進が効果を挙げていると考えられる。

■人気があるのは男女ともに日帰りドック

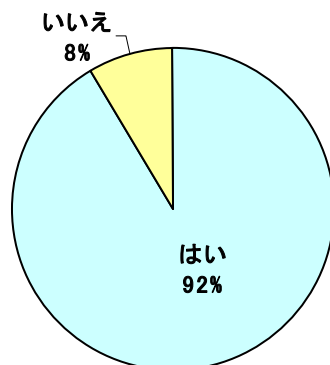
どのようなドックを受けたことがありますか？



受けたことのあるドックの種類は「日帰り人間ドック」という手軽なものが一番多く、特定の疾患への不安というよりは、健康全般への意識の高まりから受診している人が多いと思われる。男性では次いで1泊2日の人間ドック、脳ドックが、女性では乳がんドック、子宮がん・卵巣ドック、脳ドックが人気だ。

■受診者は人間ドックを高く評価～9割がリピート希望

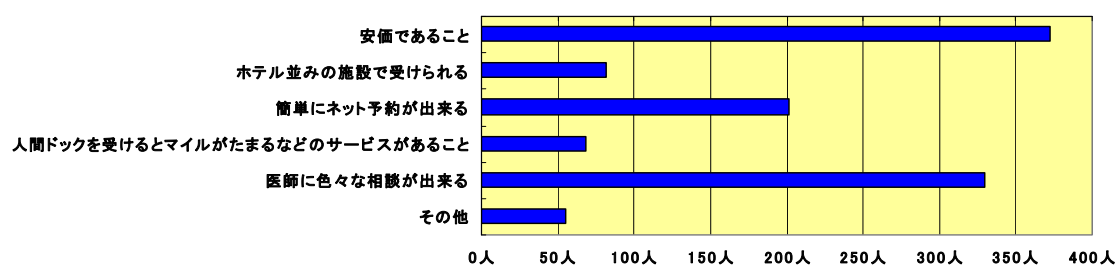
また人間ドックを受けたいと思いますか？



いちど受診した人の、人間ドックに対する評価は高いようだ。「また人間ドックを受けたいと思いますか？」の質問には、92%の人が「はい」と回答し、リピートの意向が高いことが分かる。

その理由としては、「病気の早期発見・早期治療のため」「健康管理のため」という意見が圧倒的に多くみられた（自由回答）。「職場の定期健診にはない項目を受診できるから」「定期的を受診することで体の変化に気づきやすくなる」などの声もあり、いちど受診することが健康に対する意識をさらに高め、病気を早期に発見し、治療につなげたいという予防意識の向上にもつながるようだ。

■求められているのは費用・アクセス面での手軽さ、医師のアドバイス
 今後あなたが求める人間ドックのサービスは何ですか？（複数回答）



今後求められているサービスについて聞くと、「安価であること」(372人)、「医師に色々な相談ができること」(330人)、「簡単にネット予約できること」(201人)が挙げられた。消費者は人間ドックを費用面、アクセス面でもっと身近に利用できるように望んでいると同時に、個別に医師に相談をすることで自分にあった適切なアドバイスを受け、より確実に疾患の予防につなげたいと望んでいると考えられる。

以上の結果からも、消費者は人間ドックを疾患の予防のための有効な手段として評価していることが分かる。今後、人間ドックの詳細な情報が消費者に伝われば、人間ドックの需要はますます高まるものと予想される。

今後も『health クリック』では引き続き、健康を追求する一般消費者の皆様には正しい情報・知識を普及させるべく、健康関連産業が有する優良なヘルスケアコンテンツを集約し、ユーザの役に立つ幅広いコンテンツメニューを取り揃えてまいります。

以 上

【「人間ドックの利用動向に関する調査」についてのお問い合わせ】
 株式会社ヘルスクリック 担当 八木・三上 03-5745-6505

【シミック株式会社】



日本初のCRO（医薬品開発受託機関）として、モニタリングやデータマネジメント業務、被験者募集や臨床試験コーディネーター業務等、医薬品開発の周辺業務の支援を行ってまいりました。開発から製造、販売まで、製薬企業の医薬品事業をフルサポートする体制を整え、PVC（Pharmaceutical Value Creator）として製薬企業の価値最大化に取り組んでいます。また、日本だけではなくアジア（中国・韓国・シンガポール・台湾）、米国、ブラジルに拠点を構え、幅広く業務を展開しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.cmic.co.jp/>

【株式会社ヘルスクリック】



株式会社NTTデータとの合弁会社として平成15年6月に設立しました。主に、疾病啓発活動（特に「healthクリック」を用いた活動）、疾患に関する意識調査／行動変容調査、病診連携支援システム「連携くん®」の販売・開発、臨床試験の被験者募集業務、24時間健康コールセンターの運営等を行っています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.healthclick.co.jp/>
